

## 議会傍聴記

午前は傍聴席に私を入れて2人だけ。昼食後に戻ったら満席！2位当選のちひろさんに多くの市民が注目しているのを実感しました。

初質問は4問とも周到に準備され、心のこもったもの。特に冒頭の気候危機についての質問には、ゼロカーボンシティ宣言の具現化をせまる強い思いを感じました。私たちの声を届けてくれて感謝。  
(並木町・Mさん)

## 選挙裏話

選挙ボランティアは、市内外から約90人！手作りの刺繍タスキが大人気でした。まちを練り歩き、行き交う市民の方とおしゃべりしながら、駅前までワイワイ楽しく行いました。



街頭演説の様子

## ?? 議員って、普段何してる??

年に4回、1ヶ月ずつ議会があります。議会が終わったら、議会報告会、報告ニュースの作成、イベントの企画や参加、勉強会や調査活動であっという間に時間がすぎてしまいます。

## ■グリーンな国分寺 カンパのお願い

- 郵便振替口座：00110-1-636203
- 連絡先：chihirosuzuki311@gmail.com
- HP：https://www.chihirokokubunji.com

## ■SNSでつながろう！

🔍 鈴木ちひろ 国分寺 で検索！



日々の様子も更新しています！

## ちひろDIARY



## ■鈴木ちひろ プロフィール

1996神奈川県藤沢市生まれ/2016学生時代から日本語教師を始める/2018フェリス女学院大学卒業/2019奄美大島で日本語教師/2020那須「アジア学院」で有機農業/2022東元町「カフェスロー」スタッフ、重度障がい介護ヘルパー/2023市議選当選

建設環境委員会、公共施設等総合管理特別委員会に所属。

好きなもの 農作業/温泉/フラメンコ



2023年8月号 グリーンな国分寺ニュース vol.4

国分寺市議会議員

# 鈴木ちひろ

もっと！  
人に寄りそう  
グリーンな国分寺へ

新人  
27歳  
無所属



4月23日の市議会議員選挙で、2587人の市民の皆さんから選んでいただき、2位で当選することができました。市民のみなさんと一緒に、人にも環境にもやさしい「グリーンな国分寺」を目指し、4年間がんばっていきます。「グリコくニュース No.4」は初議会を終えた私が、新人目線でみた議会の様子をお伝えします。

## 今年はいちばん暑い夏！？ 「地球温暖化 (global warming)」から 「地球沸騰化 (global boiling)」へ

約9割の市民が、温暖化問題は「重要」と回答↓



出典：「2022年国分寺市民アンケート調査」

## 88%の国分寺市民が温暖化を心配

国分寺では6月なのに35度を超える猛暑日が続いたり、スコールのような雨が降ったりと、異常気象が日常茶飯事になってきました。日本各地での自然災害も増え、今年是世界中で観測史上最も暑い夏になりました。

2028年までに世界の気温が産業革命前より1.5度以上高くなる可能性も（世界気象機関）。地域から「気候危機」に立ち向かうには、市が気候危機対策を積極的にリードすべきでは？

## 気候危機、いちばんの被害者は？

社会的「弱者（女性、子ども、障がいしゃ、性的マイノリティ、低所得者、高齢者）」、未来の子どもたちはほとんど温室効果ガスを出していないのに、真っ先に被害にあう。これってフェアじゃない！  
いまを生きる私たちにできることって？





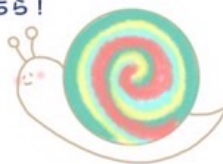
## 国分寺市に聞いてみた！



「いのち」や「人権・権利」をキーワードに、4つのテーマについて一般質問。  
どれも長期的な視野を持って取り組んでいきたい課題です。



鈴木ちひろの  
一般質問はこちら！



### ① ゼロカーボンシティの実現へ

国分寺市は2050年までにCO2排出量をゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」をしている。CO2削減目標を60%以上に引き上げること、市役所や公共施設の電力を再生可能エネルギーにすること、「気候市民会議※1」の開催など、あらゆる気候危機対策を急いでほしい。

市

再エネ化は費用面で課題。  
気候市民会議は今後研究していく。

再エネ化は気候危機対策をリードする自治体として最低限の政策。  
長期的に考えると費用面はカバーできる。  
スピード感と危機感を持って取り組むべき。



※1 「気候市民会議」って？

くじ引きで選ばれた市民が、専門家からレクチャーを受け、気候危機対策について話し合う会議のこと。世代、職業、男女比、住んでいる地域など、バランスよく市民が抽出される。市民一人ひとりの意見や学びが、市の政策になる。

### ② PFAS汚染、早急に汚染対策を！

水は生存につながる公共財＝コモنز。

多摩地域の中でも、国分寺市民の血液のPFAS濃度が高い。市民の不安に寄りそい、希望者に無料で血液検査、水道水や土壌の検査、長期的な健康調査をしてほしい。

市

現在の水道水は安全。国の専門家会議の結果を踏まえて、市としてできることを検討し、対応する。

国や都の動きを待つのではなく、市が率先して早期対策をすべき。安全でおいしい地下水をまた市民が飲めるよう、より積極的に国と都に原因究明を求めてほしい。



※2 「PFAS」って？

「有機フッ素化合物」のこと。油や水をはじき、こげつかないフライパンなどに使われている。発がん性があり、国分寺の地下水から検出された。

### ③ あたたかい中学校給食へ

給食はただの栄養補給ではなく、教育の一環であり、食べることを通じて多くのことが学べる。「食育の指針」を作り、あたたかい中学校給食の実現を目指して給食調理の方式を再考すべき。給食や食育について話せる場、協議会をつくり、市民の声を聞いてほしい。

市

食育の指針はないが、食育活動を精力的に行っている。  
自校方式や親子方式は課題が多い。

都内の冷たい弁当給食は東村山市、東久留米市、国分寺市のみ。  
すべての子どもたちがもっと公平で平等な食育を受けられるようにすべき。アレルギー対応は必須！



※3 自校方式・・・学校に調理場があり、その学校分のみを調理する。

親子方式・・・調理場をもつ自校方式の学校（親）が、  
調理場をもたない学校（子）の給食調理も行い、配送する。

### ④ 入管法「改悪」と人権問題

入管法「改悪」が強行採決されたが、「すべての人を大切にすまじ宣言」を制定している市の認識は？真の「多文化共生」を実現していくための第一歩として、在留資格に関係なくすべての市民に医療や教育などの公共サービスを提供すべき。

市

市として国の政策に見解を示すことはなじまない。  
ワクチン接種や、無料低額診療医療制度は、在留資格がなくても利用できる。

難民問題は、地域社会に住んでいる隣人が直面している問題。  
在留資格がない人でも、人権が守られるという共通認識を  
市役所全体で共有してほしい。



※4 「入管法」って？

日本に出入国するすべての人の管理と、難民の認定手続きをする法律。  
「改悪」では難民申請が3度目の外国人の強制送還が可能になる。